

2026-27年度 第2650地区スローガン

「新しい扉を開く」

ー 成長と持続のバランスをととのえる一年にー

第2650地区 [1961.3.28創立]

YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

会 長	辻 修
副 会 長	杉 垣 輝 樹
幹 事	藤 井 宏 典
会報・資料委員長	堀 内 邦 郎

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス ytrotary@abelia.ocn.ne.jp

地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール

事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

第8回(通算3088回)2026年(令和8年)9月8日号

本日の例会(9月8日)

「殿様の家系に生まれて」

大森工業㈱代表取締役

徳島藩蜂須賀家第十代藩主

蜂須賀重喜公子孫

蜂須賀健之 様

次回の例会(9月15日)

「ロータリーソング」

下村敏博 会員

9月1日の例会報告 会長の時間

今日は久方ぶりに岡本先生がお見えになっております。卓話でどんなお話をしていただけるのか、非常に楽しみです。

8月27日(木)、村島靖一郎パスト会長から事務局と私にお電話をいただきました。8月20日(木)に病院を退院して、今、自宅にてリハビリを行い、静養中ですとのことでした。十分鋭気を養った上で、10月の例会から出席させていただきますというご報告をいただきました。私にまでお電話をいただいて、本当に恐縮した次第です。10月を楽しみにさせていただきます。

本日は9月1日の防災の日です。大正12年9月1日に関東大震災が発生いたしました。大正12年というのは、私の母親が生まれた年です。大変な災害で、震災によって10万5000人の方がお亡くなりになりました。間の悪いことに、震災が起きたのは11時58分で、昼餉の段取りのときでした。また、日本海の能登半島方面に台風が来ており、その風に煽られて、各地で火事が広がり、大火になったということです。10万5000人のうち、90%は火災による焼死であったそうです。

また、丸の内の内外ビルの建設現場で、ちょうど建築中であったビルが地震で倒壊して、300人の方が圧死されたというようなこともあったようです。

この災害に対して、国際ロータリーと世界各国503に及ぶロータリークラブから、善意の8万9800ドルの現金や救援物資が届けられました。これを2026年時点の為替で換算しますと、200億円近い義援金をいただいたこととなります。

東京RCも大きな被害を受けましたが、大阪RCの援助もいただきながら、これらの義援金を使い、東京や横浜の小学校を再建したり、その他の被災者救援に使うなど、初の本格的な社会奉仕活動に乗り出しました。

ちなみに、このとき養育院に寄贈した建物の竣工披露会には、東京RCメンバーの60%の方が家族を伴って参列しました。このことが日本におけるロータリー家族会の始まりだと言われております。この話を知りまして、改めてロータリークラブというのは国際的に非常に素晴らしい、強固な組織だなと思いました。

先週、先々週と、熊本の震災に対して義援金をお願いしましたところ、皆さんからご寄附をいただきました。諮問委員会では友愛基金を使うかどうかを検討いたします。その後、地区に早速送金させていただきたくております。災害というのは人ごとではなく、我が事に捉えておきたいものです。先日の新聞でも、近畿地方に地震が起こる確率は非常に高いと書いてありましたので、常に災害に対する備えを怠りなくやっていきたいと考えております。

幹事報告

◎第3回理事会のご報告

1. 出席規定免除の件 承認

世古千代子会員

2. バルセロナ国際大会の件 承認

登録料につきましては、クラブから補助をさせていただきます。会員負担はおよそ4万円前後になります。

3. クールビズの件 承認

10月20日(火)のガバナー補佐によるアッセンブリーの日からネクタイ着用をお願いいたします。

◎熊本地震義援金の件

14万円の募金を頂戴いたしました。ありがとうございました。また、2650地区からは緊急措置として500万円の送金がされました。当クラブでは、諮問委員会と友愛基金からの支出も検討を行います。

ゲスト

土橋功輝様(奈良県立医科大学)

誕生日祝

安田志郎会員(9月 4日)

結婚記念日祝

木原常裕会員(9月 2日)

創業記念日祝

川村英亮会員(9月 1日) 廣橋健次郎会員(9月 1日)

4つのテスト [言行はこれに照らしてから]

1. 真実か どうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるか どうか

委員会報告及びその他報告

○国際奉仕委員会

上田麻子委員長

バルセロナ国際大会の参加予定者は現在6名です。日本より添乗員も同行してくださり、安心してご参加いただけます。当委員会といたしましては、10名以上のご参加を目指しております。本日、再度アンケートを回しておりますので、再検討していただきますようお願いいたします。

○雑誌・IT委員会

一ノ坪英二委員長

『ロータリーの友』9月号のご紹介をいたします。「ロータリーのブランドについて考える」という記事がございます。9ページの写真が非常に印象的で、会社でも使える内容だと思いました。いいことをしているのであれば、それを伝えるには、伝わるようなストーリーが必要だということが書いてあります。23ページに書かれている組織の在り方の記事は非常に勉強になりました。58ページには、JR九州の話が書かれています。

ニコニコ箱

・岡本吉行パスト会長、本日の卓話、どんな話が飛びだしますやら、楽しみにしております。

辻 修会員

・岡本先生の卓話を楽しみにしています。

藤井宏典会員

・岡本先生、卓話を楽しみにしています。奈良県立医大学生6年生、土橋功輝さんがお邪魔します。

竹村恵史会員

・岡本先生、本日の卓話、楽しみにしています。

吉田 暁会員 船木克容会員 脇本吉清会員

松村實昭会員 枅岡 進会員 世古千代子会員

林田光治会員 下村敏博会員 佐藤佳雄会員

堀川巳清会員 村野淳二会員 清水良彦会員

白井健雄会員 松村裕玄会員 吉川雅章会員

一ノ坪英二会員 木原常裕会員 瀧本栄一会員

上田麻子会員

・岡本先生、楽しみにしています。来年もお話よろしく！

山田 博会員

・先日の情報集会、ありがとうございました。

藤原有騎会員

・船木様、脇本様、川村様、先日はありがとうございました。

丸野正徳会員

・誕生日祝を頂いて。岡本先生、卓話、楽しみにしております。

安田志郎会員

卓話「会員卓話」

岡本吉行会員

この卓話のお話を松村實昭会員からいただいて、もう2か月になります。何をお話ししようかと考えておりましたが、思えばこのところ、中井君、林田君、松尾君ら友達が次々と黄泉の国へ旅立ちました。大変残念なこと、こんなに悲しいことはありません。

皆さんに慕われていた彼らは、惜しまれてこの世を去りました。彼らを偲んで、能楽のお話を2つご紹介したいと思います。

まず、ご紹介するのは『藤戸』のお話です。一節を

お読みしますと、「此海を馬にて渡すべき所やあると尋ねしに。彼者申すやう。さん候河瀬の様なる所の候。月頭には東にあり。月の末には西にあると申す。」とあります。

源氏方の武将が、海で隔てられた平家の陣地に向かうため、地元に住む若い漁師から、馬で渡れる浅瀬ができる場所と日時を聞き出します。このことを、平家方はもちろん、味方にも知られたくなかったので、他言を恐れて漁師を殺し、海に沈めてしまします。この話を聞いた老婆は、半狂乱となり、自分も殺せと転げまわり、我が子を返せと迫ります。この武将は老婆をなだめ、漁師を回向することを約束し、家に帰らせました。後に、藤戸の海辺で管弦講を催し、般若経を誦読して漁師を吊っていると、意外にも回向を賜ったことに感謝し、彼岸に至って成仏の身となりました。

また、もう一つご紹介するのは、『松虫』のお話です。こちら一節をご紹介しますと、「むかし此阿倍野の松原を。ある人二人連れて通りしに。折節松虫の声おもしろく聞えしかば。一人の友人。彼虫の音を慕ひ行きしに。今一人の友人。やゝ久しく待てども帰らざりし程に。心もとなく思ひ尋ね行き見れば。彼者草露に臥して空しくなる。死なば一所とこそ思ひしに。こはそも何と云ひたる事ぞとて。泣き悲しめどかひぞなき。」とあります。

このお話のあらすじは以下のようなものです。

摂津国阿倍野の市で酒を売る市人のところに、若い男たちが集まって酒宴を開きます。そこで、一人の男が「松虫(今で言う鈴虫)の音に友を偲ぶ」と言ったので、市人がそのいわれについて尋ねると、男が語り始めます。

昔、阿倍野の原で仲のよい二人の男が歩いていた時、その一人が松虫の鳴く声に心が引かれて、草むらに入ってしまったまま帰ってきません。心配したもう一人の男が探しに行くと、草の上に臥して亡くなっている友の姿を見つめます。友を土中に埋めた後も、男は松虫の音を聞きながら友を偲び続けているのでした。そのように語ると、男は自分がその友を亡くした男の幽霊であることを明かして消えてしまします。

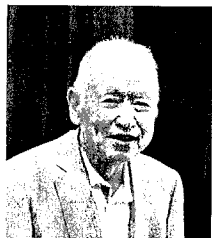
我々の仲間と重ねて思うところのある話です。今まで楽しくやっていた友達がいつの間にやらおらんようになってしまった。ああ、懐かしいな、悲しいなと思うところ、せつないこと、別れのつらさを感じます。

今回、我々の友達である、林田君とか松尾君とか中井君とか、いつの間にやら、この『松虫』の話のごとく去ってしまいました。

ロータリーの皆様と一緒に『土蜘蛛』を見に行ったことなど、懐かしく思い出します。能には、楽しい、勇壮な話もあれば、このように悲しさ、寂しさを扱ったお話もあります。

我々、生きている者といまして、亡くなられた方々のご冥福を祈って合掌をいたしたいと思ひます。(一同 合掌)

林田君、松尾君、中井君、お疲れさまでした。皆さんにも一緒に行けと言うわけではないですので(笑)、これから元氣よく生きてください。



出席報告	会員 総数	出席 義務 会員数	義務 会員 出席数	義務 会員 欠席数	義務 会員 MU	出席 免除 会員数	免除 会員 出席数	免除 会員 MU	出席率
9月1日	81	55	47	8	1	26	18	0	90.41%
8月25日	81	56	49	7	2	25	16	0	93.06%
8月18日	81	56	50	6	3	25	13	1	95.71%

※食品ロスの削減に努めましょう。(8月25日の弁当残数は2個)